

2017年度 事業報告

(2017年4月1日～2018年3月31日)

公益社団法人北海道ろうあ連盟

2017年度事業実施報告

国や道の補助金が年々カットされていく厳しい財政基盤の中で、公益社団法人として事業を継続していくためには運動の質を高め事業に結びつけていく運営力が求められています。

2017年度は、手話言語条例が北海道、札幌市、千歳市、小樽市、岩見沢市、三笠市で採択され、道内19自治体で手話言語条例が施行されています。

これまで障害者はリハビリテーション概念からのバリアフリー施策が中心でした。しかし、障害者権利条約から「障害者の権利」が明確になるにつれて「手話言語」が意思疎通支援事業として、コミュニケーションのバリアフリーによる意思疎通支援が必須となってきました。

しかし、連盟が担っている事業にろうあ者相談員事業、手話通訳者設置事業、手話通訳者養成事業、手話通訳派遣事業、ビデオライブラリー事業がありますが、いずれの事業も正職員の身分を保障できる予算になっていません。また、聴覚障害者情報提供施設も未設置のままです。

手話通訳者の数も不足しています。そのため、聞こえる人と同等の言語保障（権利）を獲得するためには「手話言語法」が必要です。ろうあ者が当たり前と言語（手話）を行使して社会参加するためには、「手話言語法」の持つ意義は大きいと思います。

また、聴覚障害者が社会で生きるため地域の中で新しい事業を作るのもひとつの方法でしょう。道内では札幌聴覚障害者協会を初め旭川ろうあ協会と釧路聴力障害者協会が聴覚障害者支援事業を始めました。これは、聴覚障害者支援だけではなく、地域の中に働く場所を自ら作り、地域の協会が事業と運動を展開していくことで、協会財政基盤の安定化を計ることで、将来の展望が広がります。

このように運動が事業を作り、事業が運動を守ることが「共生社会」につながり、その意義を多くの道民に知ってもらうことが大切です。

- 聴覚障害者のコミュニケーションを支援するため手話通訳事業
- 手話通訳者・手話通訳士の養成事業
- 手話の普及事業
- 聴覚障害者に対する相談支援事業
- 聴覚障害の文化・スポーツ啓蒙事業
- 手話・ろう運動出版事業

【公益目的事業】

■ 公1 手話に関する事業

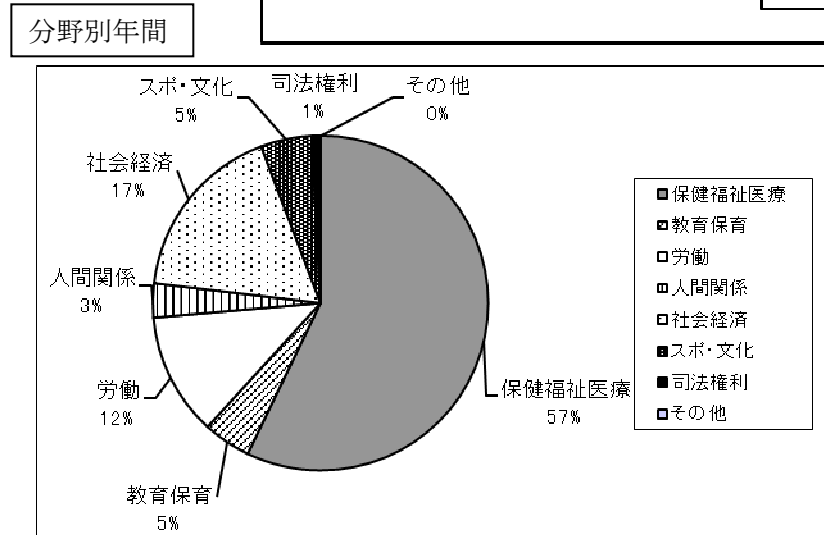
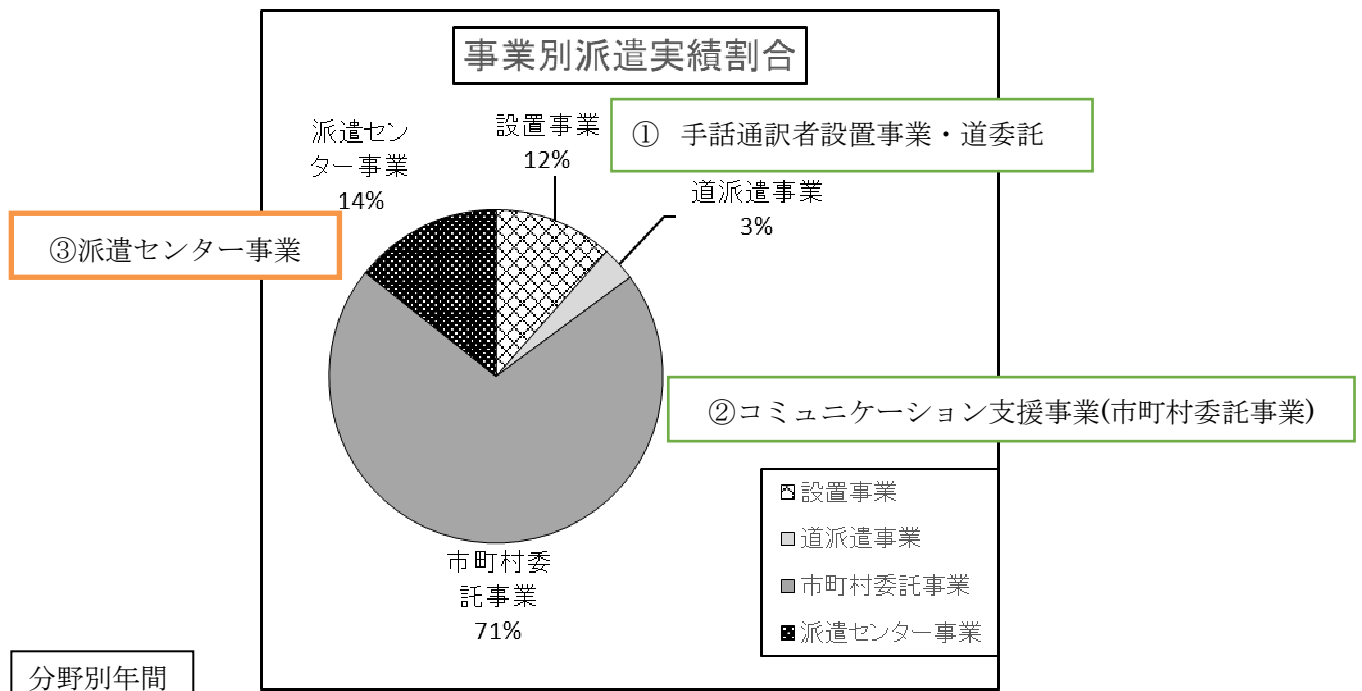
公1-1 手話通訳者等の設置・派遣

聴覚障害者のコミュニケーションを支援するため、手話通訳者を設置・派遣した。

派遣センター事業は

- ① 手話通訳者設置事業（北海道補助事業）
- ② コミュニケーション支援事業（市町村委託事業）
- ③ 手話通訳者派遣事業（一部北海道委託事業）を行っています。

今年度の派遣件数は1,232件1,765人派遣し、昨年度より派遣センター事業が減っています。全体の派遣比率は下記のグラフの通り市町村支援に関する内容が71%を占めています。



分野別にみると医療60%近くを占めている。高齢に伴い、介護支援なども増えています。



派遣を担っている登録通訳者の推移は少しずつ増えているものの地元推薦者（資格なし）も少なからずいます。日中活動できる人も限られているため、設置通訳者が出ることも多い地域があります。

	2015年度	2016年度	2017年度
派遣件数	1,183	1,312	1,232
派遣人数	1,569	1,787	1,765

2017年度の北海道ろうあ連盟

北海道手話通訳派遣センター登録手話通訳者：383名の概要

① 性別構成

男性	40名	女性	343名
----	-----	----	------

② 地域（振興局）構成

(単位:名)

石狩	90	後志	27	留萌	5	胆振	42	釧路	26
渡島	32	空知	39	宗谷	8	日高	6	根室	14
檜山	5	上川	44	オホーツク	17	十勝	28		

③ 資格構成

(単位:名)

手話通訳士	85	北ろう連上級	2	北ろう連一級	9
全国統一試験	140	北ろう連中級	4	北ろう連二級	50
全日ろう連認定	2	北ろう連初級	17	団体推薦	74

④ 年齢構成

(単位:名)

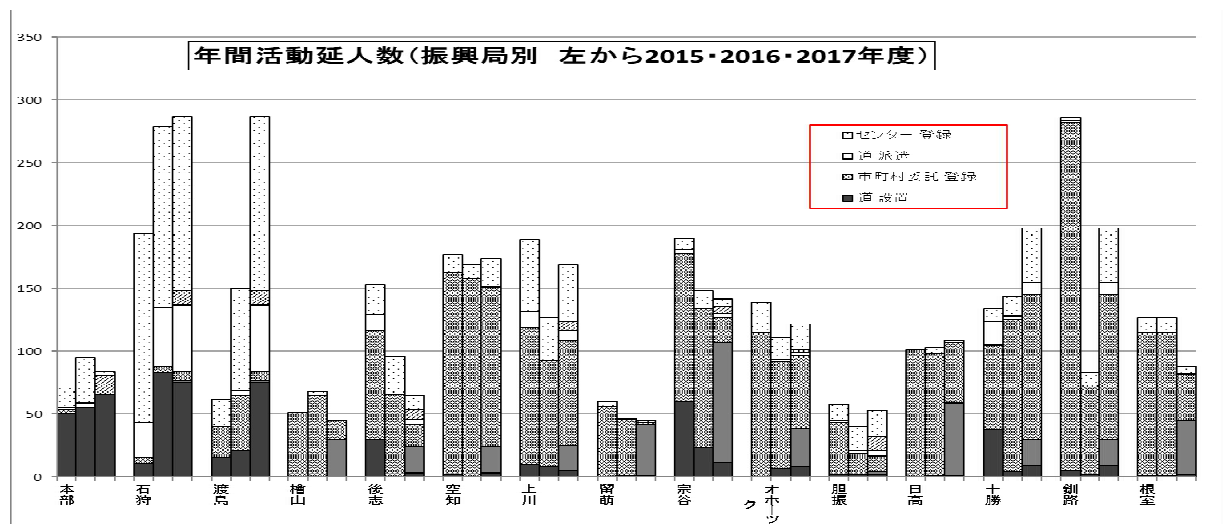
20代	20～24	2	2	50代	50～54	68	155
	25～29	0			55～59	87	
30代	30～34	7	25	60代	60～64	61	101
	35～39	18			65～69	40	
40代	40～44	37	86	70代	70～74	9	14
	45～49	49			75～79	5	

※平均年齢：54.3歳

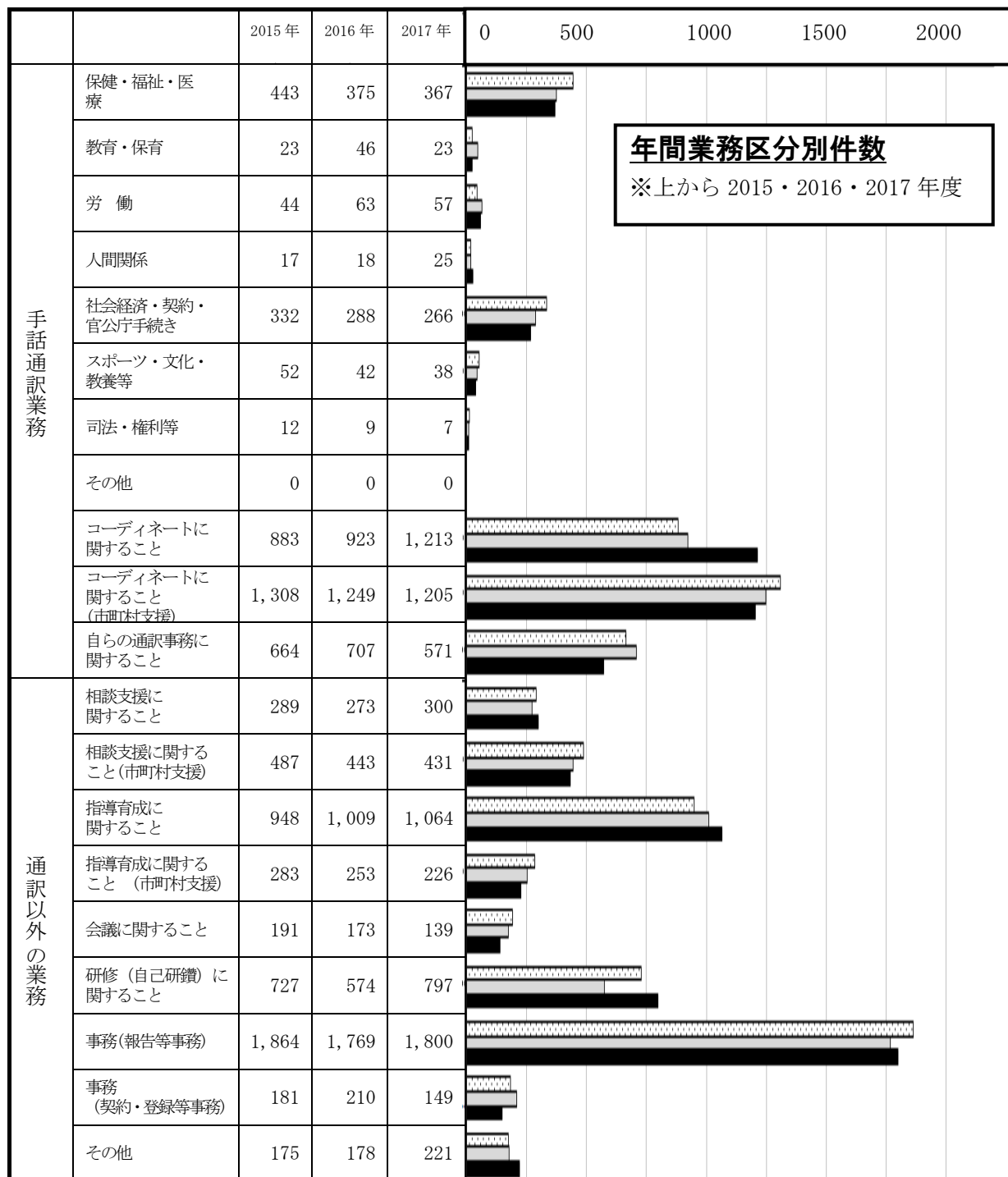
2017年度の内訳は上記の通り、平均年齢も高くなってきており、地域での養成が急務です。登録者へ向けての研修（技術や理論）は各地域年3回行っています。

派遣センター職員は14振興局と本部に1名ずつ設置通訳者として配置されています。来庁者対応や、派遣コーディネートの主ではありませんが、3チーム(派遣・養成・統計)に分かれ、経理と共に派遣センター事業を支えています。金原事務局長は派遣センター事務局長も兼ねています。(2018年度 宗谷振興局不在)

コーディネートに関する地域の状況



手話通訳業務区分年間一覧



14 振興局の職員は手話通訳派遣に関するコーディネート業務の他、登録員研修(年3回)への取り組み、地域協会やサークル、通研との連携等行い、ろうあ者相談員の不在地域では各種相談、電話代行、代筆・代読など生活にかかわる支援も担っている地域もあります。また地域自治体(市町村)とのパイプ役を担い派遣や養成に関してのアドバイスを行ったり、講師として対応もしています。全職員が札幌に集合し職員研修を年4回開催しました。(スキルアップ研修含む)

職員研修

	開催日時	参加地域
1回目	5月18日(木)～19日(金) 9:00～16:00 (2日間開催)	14地域
2回目	7月26日(水)～27日(木) 9:00～16:00 (2日間開催)	15地域
3回目	10月18日(水) 9:00～16:00 (1日開催後2日間相通研参加)	15地域
4回目	1月24日(水)～25日(木) 9:00～16:00 (2日間開催)	14地域

チームの内容は次の通り

<派遣チーム>

- ・全道ろうあ者夏季体育大会・全道ろうあ者大会通訳配置に伴う調整・連絡と事後の振り返り、まとめ等
- ・派遣事例の集約と共有・相談等

<養成チーム>

- ・登録通訳者への現任研修の企画立案と事後の振り返り、まとめ等
- ・年4回の職員対象のスキルアップ研修企画立案と事後の振り返り、まとめ等
- ・その他、養成に関する事等

<統計チーム>

- ・手話通訳派遣実績、月間、年間集計精査分析等
- ・広域派遣実績精査等
- ・月間活動報告書精査等

手話通訳派遣センター運営委員会の開催

第1回	2017年4月22日(土)	10:00～12:00	かでの 2.7
第2回	2017年11月18日(土)	10:00～12:00	かでの 2.7
第3回	2018年2月17日(土)	10:00～12:00	かでの 2.7

役職	氏名	第1回	第2回	第3回
		4月22日	11月18日	2月17日
所長(5月まで)	蠣崎 日出雄(北ろう連)	○		
所長(6月から)	山根 昭治(北ろう連)	欠	○	○
事務局長	金原 浩之(北ろう連)	○	○	○
委員	渋谷 雄幸(北ろう連)	○	○	○
委員	高嶋 正博(北ろう連)	欠	○	欠
委員	吉野 州正(北通研)	○	○	○
委員	野川 博子(道士会)	○	○	○
委員	神能 直子(北手協)	○	○	○
委員	新國 三千代(学識経験者)	欠	欠	○
オブザーバー	道障がい者保健福祉課	欠	欠	欠

公1-2 手話通訳者・手話通訳士の養成

聴覚障害者のコミュニケーションの人的基盤となる手話通訳者・手話通訳士を養成した。
2014年度よりカリキュラムが改訂となり対応した講師の育成を充実させた。

(1) 手話通訳者養成講座の開催（北海道委託事業）

目的：手話通訳者の養成し、聴覚障害者等の福祉の増進に資する

内容：手話通訳者としての専門的な知識・技術の習得

対象：北海道の委託を受けて手話奉仕員養成カリキュラムを修了した者もしくは修了と同等の知識・技量を有すると認められたもの

2017年度報告：（開催地）道内2か所（札幌会場・帯広会場）（80講座）

(2) 現任（登録）手話通訳者研修会の開催

手話通訳者として北海道ろうあ連盟に登録されている者を対象として、その知識・技術の維持・向上を図る研修会を開催した。（年3回：全道各地で開催）

■開催内容

振興局	参加対象地域	開催地	開催日	参加人数
第 1 回				
石 狩	札 幌	札幌市	8月27日(日)	8
	北広島	北広島市	8月26日(土)	8
渡 島	南渡島	函館市	7月11日(水)	13
檜 山	南檜山・北檜山・檜山	今金町	6月10日(土)	2
後 志	後 志	余市町	6月17日(土)	11
空 知	南空知	岩見沢市	6月3日(土)	7
	中空知	滝川市	7月1日(土)	8
上 川	上川北部	名寄市	7月23日(日)	6
	旭 川	旭川市	6月8日(日)	8
	富良野	富良野市	7月1日(土)	4
留 萌	留萌市	留萌市	6月28日(水)	2
宗 谷	宗 谷	稚内市	7月2日(日)	5
オホーツク	オホーツク	北見市	6月18日(日)	11
胆 振	東胆振	苫小牧市	6月9日(金)	9
	西胆振	室蘭市	6月4日(日)	15
日 高	日 高	新ひだか町	7月6日(木)	5
十 勝	十 勝	帯広市	6月18日(日)	13
釧 路	釧 路	釧路市	5月31日(水)	16
根 室	根 室	中標津町	7月2日(日)	10
合 計		161名		
第 2 回				
振興局	参加対象地域	開催地	開催日	参加人数
石 狩	札 幌	札幌市	10月22日(日)	16
渡 島	南渡島	函館市	8月27日(日)	20
後 志	後 志	小樽市	10月8日(日)	14
空 知	南空知	岩見沢市	10月7日(土)	21
上 川	旭 川	旭川市	8月26日(土)	15
留 萌	留 萌	留萌市	10月9日(月)	2
宗 谷	宗 谷	稚内市	9月9日(土)	6
オホーツク	オホーツク	北見市	8月6日(日)	9
胆 振	合同(胆振・日高)	苫小牧市	11月4日(土)	20

日高				
十勝	十勝	帯広市	8月11日(金)	12
釧路	釧路	釧路市	8月12日(土)	15
根室	根室	中標津町	9月24日(日)	12
合 計		161名		
第 3 回				
振興局	参加対象地域	開催地	開催日	参加人数
石 狩	札 幌	札幌市	2月4日(日)	8
	北広島	北広島市	2月3日(土)	10
渡 島	南渡島	函館市	11月12日(日)	13
檜 山	南檜山・北檜山・檜山	今金町	11月11日(土)	3
後 志	後 志	余市町	11月12日(日)	14
空 知	南空知	岩見沢市	2月10日(土)	12
	中空知	滝川市	1月20日(土)	6
上 川	旭 川	旭川市	11月25日(土)	7
	上川北部	士別市	11月12日(日)	3
	富良野	富良野市	1月13日(土)	1
留 萌	留萌市	留萌市	10月9日(月)	2
宗 谷	宗 谷	稚内市	10月14日(土)	6
オホーツク	オホーツク	北見市	10月21日(土)	9
胆 振	東胆振	苫小牧市	10月6日(金)	7
	西胆振	伊達市	10月9日(月)	18
日 高	日 高	静内町	1月18日(木)	4
十 勝	十 勝	帯広市	11月23日(木)	16
釧 路	釧 路	釧路市	11月30日(月)	17
根 室	根 室	中標津町	11月23日(木)	8
合 計		164名		
		総 計	487 名	

(3) 手話通訳士育成研修会の開催

○手話通訳士育成講座：

手話通訳者として登録されている者を対象として、手話に関する厚生労働大臣認定資格である「手話通訳士」の取得を支援するため、研修会を開催した。

2017年度報告：(日程) 2017年7月22・23日、(会場) 札幌市 (受講者) 15人

○レベルアップ講座

日時・参加人数・会場	内容
2017年9月30日13:30～ 10月1日9:15～16:00 43名 札幌市 札幌市視聴覚障がい者情報センター	講義：通訳過程・7つのポイント 実技：要約通訳・場面通訳・個別指導
2017年9月30日13:30～ 10月1日9:15～16:00 5名 函館市 函館市総合福祉センター	講義：通訳過程・7つのポイント 実技：要約通訳・場面通訳・個別指導

2017年11月11日 10:00～16:00 新ひだか町 新ひだか町社会福祉協議会三石支所	8名	講義：通訳過程・7つのポイント 実技：要約通訳・場面通訳・個別指導
---	----	--------------------------------------

(4) 手話通訳者養成講師育成研修会の開催

日 時：2017年9月16日(土) 9:30～17:00
17日(日) 9:00～15:30

会 場：道立道民活動センター (かでの2.7)

内 容：講義『手話通訳者養成カリキュラム講師講習会ねらいとテキストの概要・
指導案作成の基本的な視点』

実技「手話奉仕員養成課程『手話を学ぼう 手話で話そう』(入門・基礎)」

講 師：京都市聴覚言語障害センター

地域第一福祉部 養成・情報支援課 課長 岩本 重雄 氏

2017年度報告：(受講者) 45人

公1-3 手話の普及

(1) 手話研究集会の開催

【第37回北海道手話通訳問題研究集会】

■2017年7月8日(土) 18:45~20:30

会場：室蘭市 室蘭市障害者総合センター (ぴあ216)

講演：『手話言語条例制定後の現状と課題』～ろうあ運動の視点より～

講師：公益社団法人 北海道ろうあ連盟副理事長 佐藤 英治氏

■2017年7月9日(日) 10:00~14:45

講演：『手話言語条例施行後における手話通訳環境の変化について』

～手話条例を制定している全国自治体の現状を全通研の視点から～

講師：一般社団法人全国手話通訳問題研究会 事務局長 伊藤 正氏

シンポジウム

テーマ：『さらなる手話言語条例の広がりと展望』

シンポジスト

公益社団法人 北海道ろうあ連盟副理事長 佐藤 英治氏

一般社団法人全国手話通訳問題研究会事務局長 伊藤 正氏

石狩市保健福祉部障がい福祉課主査 鈴木 昌裕氏

2017年度：(参加者) 58人

(2) 手話講師の派遣

手話や聴覚障害の普及・啓発を図るため講師を派遣した。

- ・2017年度講師派遣報告

<北海道ろうあ連盟法人部門>

日時・会場	依頼者・会合名・内容
2017年4月13日、5月18・25日 6月1・15・22日 13:00~16:30 北海道青少年会館、NTT セミナーセンター	日本経営協会 北海道新採用職員研修 講義・実技
2017年7月6・31日、9月29日、10月4日、 2018年2月23日 洞爺湖町役場	洞爺湖町職員及び町民向け手話講習会 講義・実技
2017年10月~2月 後期 全14回 専門学校札幌スクールオブビジネス	学校法人安達学園 専門学校札幌スクールオブビジネス ユニバーサルサービス(手話)授業
2017年10月5日 16:00~17:00 北海道議会	民進党手話講習会 講義・実技

<手話通訳派遣センター養成研修部門>

日	時	依頼者・会合名・内容
2017年10月23日	18:30~20:30	石狩市：登録手話通訳者・要約筆記者研修会 講義：「手話通訳と要約筆記の活動を通して」
2017年10月26日	19:00~20:30	士別市：手話通訳者応用講座 実技：講義：「読み取り」「ろう者の対応について」
2017年11月5日	10:00~15:00	網走市：登録手話通訳者研修会 講義：「ろうあ者の歴史・ろうあ運動」等
2017年11月26日	9:45~15:30	社福）侑愛会：手話通訳者登録員研修 講義・実技：「7ポイント解説と聞き取り表現」等
2017年11月27日	18:00~20:30	岩見沢市：岩見沢市登録手話通訳者研修 講義：「コミュニケーション支援と生活支援」等
2017年11月30日	18:30~20:30	美唄市社協：美唄市手話奉仕員研修会 講義：「ろうあ者が手話奉仕員に求めるもの」
2018年1月29日	13:30~16:00	登別市：手話通訳員研修会 実技：「聞き取り表現」
2018年2月18日	13:00~15:00	室蘭市：手話通訳協力員研修 実技：「ロールプレイ・事例検討・模擬通訳」
2018年2月24日	13:30~15:00	美唄社協：ろうあ者教養講座 講義：「誰もが住みやすい街づくりについて」
2018年3月16日	18:00~20:00	伊達市：手話通訳協力員研修会 実技：「病院通訳」理論「手話通訳者のあり方」
2018年3月22日	18:30~20:30	美唄市社協：美唄市手話奉仕員研修会 実技「読み取り」

【情報・コミュニケーション部】

1. 2017年度 北海道手話通訳者健康問題対策委員会

日時：2018年1月20日（土） 10：00～12：00

場所：道立道民活動センター（かでの2.7） 交流センター会議スペース （8F）

出席者：北ろう連 渋谷、北通研 吉野、北手協 伊藤・神能・坂元、道士会 松井・山田、
北ろう組 中屋敷、板谷

内容：①活動資金は、25万1484円が引き継がれている。

②各団体の選挙によってメンバーの入れ替わりがある予定。

③会議内容（要点のみ）

☆ 全通研の実態調査から

- 調査票の回収率90から70%に➡健康意識の低下が危惧される。
- 重度の頸肩腕障害を示す通訳者は減少。
- 通訳者の高齢化が進行。➡制度の維持が懸念される。

◇ 北通研の特殊健診実施状況調査から

- 健診実施自治体 14 (札幌、函館、小樽、旭川、釧路市、帯広、苫小牧、千歳、恵庭、北広島、石狩、北斗、余市、岩内)
- 健診未実施自治体 22 (北海道、室蘭、北見、岩見沢、網走、美唄、芦別、江別、紋別、士別、名寄、根室、滝川、深川、富良野、伊達、古平、南富良野、占冠、雄武、鹿追、新得)
- アンダーライン自治体は、手話言語条例制定自治体 (予定含む)
- 実施自治体でも病院により検査内容が異なり、若葉医師の作成した問診票を用いているのは2か所。
- 地域により健康問題は温度差がある。

2. 手話通訳者全国統一試験

手話通訳者養成講座修了者及び同等の知識・技術を有するものを対象に全国手話研修センター主催の試験を道内3か所で実施した。

日 時：2017年12月2日(土) 会場：札幌市・帯広市・旭川市

区分	会場	申込者数	受験者数	合格者数
養成講座修了者	札幌	25	24	7
	帯広	15	15	1
同等の知識・技術を有するもの	札幌	25	24	0
	帯広	4	3	0
	旭川	18	18	2
合計		87	84	10
合格率		11.9%		

3. 「第12回全国手話検定試験」について(協力)

(1) 2017年度「第12回全国手話検定試験」説明会

日 時：2017年6月2日(金) 17:15~18:30

場 所：福岡国際会議場(全国ろうあ者大会 in 福岡)

出席者：高嶋(札幌)、橋本(旭川)

(2) 「地域試験委員会代表者・面接委員責任者会議」

日 時：2017年9月10日(日) 13:15~16:15

場 所：全国手話研修センター(京都)

出席者：高嶋(札幌)、橋本(旭川)

(3) 「受験者のための学習セミナー」開催

⑦札幌会場

日 時：2017年9月9日(土) 9:30~16:30

場 所：札幌市視聴覚障がい者情報センター

実施内容：5級・4級・3級・2級・準1・1級

受講数：87名

①旭川会場

日時：2017年10月1日（日）9：30～16：30

場所：旭川市ときわ市民ホール

実施内容：5級・4級・3級・2級

受講数：45名

(4)「第12回全国手話検定試験」実施

⑦5級・4級・3級・2級の試験実施

日時：2017年10月14日（土）9：30～16：30 5級・4級

2017年10月15日（日）9：30～17：00 3級・2級

場所：札幌会場・釧路会場・旭川会場・函館会場

⑧準1級・1級の試験実施

日時：2017年10月21日（土）9：30～16：30 準1級・1級

場所：札幌会場・旭川会場

⑨団体試験

日時：2017年9月27日（水）9：30～12：00 5級

場所：光塩短期大学

日時：2017年9月30日（土）9：30～16：30 5級・4級

場所：新得町

(5) 第12回全国手話検定試験受験申込者状況・合格者状況

(単位:名)

試験会場	5級		4級		3級		2級		準1級		1級		合計	
	申込	合格	申込	合格	申込	合格	申込	合格	申込	合格	申込	合格	申込	合格
札幌	86	82	84	70	82	70	40	29	20	14	9	8	321	273
旭川	30	26	29	26	30	27	23	15	7	6	6	4	125	104
釧路	11	9	20	19	10	8	8	6	8	6	2	0	59	48
函館	3	3	8	7	10	8	6	3					27	21
合計	130	120	141	122	132	113	77	53	35	26	17	12	532	446

・全国試験の申込者数：10,235名 合格者数8,516名

団体試験	5級		4級		3級		2級		準1級		1級		合計	
	申込	合格	申込	合格	申込	合格	申込	合格	申込	合格	申込	合格	申込	合格
新得町	52	46	54	53									106	99
光塩短大	12	12											12	12
合計	64	58	54	53									118	111

・団体試験の申込数：926名 合格数：846名

■ 公 2 : 聴覚障害者の福祉の増進に関する事業

公 2 - 1 聴覚障害者に対する支援

聴覚障害者の日常生活等を支援する事業を行い、聴覚障害者の福祉を増進した。

(1) ろうあ者相談員設置事業（北海道補助事業）

北海道の補助を受けて、ろうあ者相談員として1人を配置し、聴覚障害者・福祉団体・市町村等からの相談に応じ、必要な支援を行った。

年間実績 77 件

2017 年度 障害者相談員 相談事業 活動報告書

月	件数	主な相談内容		相談の方法		依頼者の区分	
4月	9件	職業	結婚	電話	3	聴障者	2
		福祉	2 医療	F A X	1	健聴者	3
		住居	1 教育	来所	3	傘下協会	1
		行政	3 講師	メール	1	福祉団体	
		通訳	1 その他	2 訪問	1	行政関係	3
		生活	1 計	9件	計	9件	計
5月	8件	職業	1 結婚	1 電話	5	聴障者	4
		福祉	2 医療	F A X	1	健聴者	2
		住居	1 教育	来所		傘下協会	1
		行政	1 講師	メール	2	福祉団体	
		通訳	1 その他	2 訪問		行政関係	1
		生活	1 計	8件	計	8件	計
6月	6件	職業	結婚	電話	2	聴障者	2
		福祉	1 医療	F A X		健聴者	2
		住居	1 教育	来所	1	傘下協会	
		行政	2 講師	メール	3	福祉団体	
		通訳	1 その他	1 訪問		行政関係	2
		生活	2 計	6件	計	6件	計
7月	9件	職業	1 結婚	電話	8	聴障者	2
		福祉	1 医療	F A X		健聴者	3
		住居	1 教育	2 来所	1	傘下協会	
		行政	1 講師	メール		福祉団体	
		通訳	2 その他	2 訪問		行政関係	4
		生活	1 計	9件	計	9件	計
8月	5件	職業	結婚	電話	2	聴障者	3
		福祉	1 医療	F A X	1	健聴者	1
		住居	1 教育	来所	1	傘下協会	
		行政	1 講師	メール	1	福祉団体	
		通訳	1 その他	2 訪問		行政関係	1
		生活	1 計	5件	計	5件	計
9月	4件	職業	結婚	電話	1	聴障者	3
		福祉	1 医療	F A X	1	健聴者	
		住居	1 教育	来所	1	傘下協会	1
		行政	1 講師	メール	1	福祉団体	
		通訳	1 その他	2 訪問		行政関係	
		生活	1 計	4件	計	4件	計
10月	6件	職業	結婚	電話	2	聴障者	4
		福祉	1 医療	F A X	1	健聴者	1
		住居	1 教育	1 来所		傘下協会	1
		行政	1 講師	メール	2	福祉団体	
		通訳	2 その他	2 訪問	1	行政関係	
		生活	1 計	6件	計	6件	計
11月	7件	職業	結婚	電話	2	聴障者	1
		福祉	1 医療	4 F A X		健聴者	3
		住居	1 教育	来所	2	傘下協会	
		行政	1 講師	メール	2	福祉団体	1
		通訳	1 その他	1 訪問	1	行政関係	2
		生活	1 計	7件	計	7件	計
12月	7件	職業	結婚	電話	1	聴障者	4
		福祉	1 医療	2 F A X		健聴者	2
		住居	1 教育	来所	1	傘下協会	
		行政	1 講師	メール	4	福祉団体	
		通訳	1 その他	2 訪問	1	行政関係	1
		生活	1 計	7件	計	7件	計
1月	5件	職業	結婚	電話	1	聴障者	2
		福祉	2 医療	F A X		健聴者	1
		住居	1 教育	1 来所	1	傘下協会	1
		行政	1 講師	メール	2	福祉団体	
		通訳	1 その他	1 訪問	1	行政関係	1
		生活	1 計	5件	計	5件	計
2月	5件	職業	結婚	電話	1	聴障者	1
		福祉	1 医療	F A X		健聴者	2
		住居	1 教育	来所	1	傘下協会	2
		行政	1 講師	1 メール	1	福祉団体	
		通訳	2 その他	訪問	2	行政関係	
		生活	1 計	5件	計	5件	計
3月	6件	職業	1 結婚	電話		聴障者	5
		福祉	1 医療	F A X	1	健聴者	1
		住居	1 教育	来所	1	傘下協会	
		行政	1 講師	メール	4	福祉団体	
		通訳	1 その他	3 訪問		行政関係	
		生活	1 計	6件	計	6件	計

(2) 字幕ビデオライブラリー事業（北海道委託事業）

北海道の補助を受けて、（社福）聴力障害者情報文化センター・札幌市視聴覚障がい者情報センターと連携し、字幕・手話付き映像作品の貸し出し業務を行った。

・対象：聴覚障害者、聴覚障害者福祉関係機関・団体、手話学習者等

ビデオライブラリー月ごと集計報告													
2017年4月1日～2018年3月31日													
単位 人													
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
聴覚障害者・ 聴覚障害者児の関係者	2	3	1	1	3	2		1	1	1	2	1	18
関係団体・学校・施設など	3	4	1	1	1		1		1	1	1		14
合計	5	7	2	2	4	2	1	1	2	2	3	1	32

単位 枚

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数	7	7	4	4	11	6	1	1	4	3	5	2	55
合計	7	7	4	4	11	6	1	1	4	3	5	2	55

(3) 全道ろうあ者相談員・全道専任手話通訳者研修会の開催

ろうあ者相談員・専任手話通訳者の資質の向上を図るため、福祉に関する諸問題を討論する研修会を開催した。

【第43回全道ろうあ者相談員研修会・第40回全道専任手話通訳研修会】

日時：2017年10月19日（木） 9：30～17：00

2017年10月20日（金） 9：30～15：30

会場：道立道民活動センター（かでの2.7）

内容：講演「ケースと援助者とのバウンダリー（心の境界線）との理解」

～ニーズの把握と援助者の役割とは～

講師：九州産業大学 国際文化学部臨床心理学科（精神保健福祉コース）

倉知 延章（くらち のぶあき）氏

- ・対象者：地方公共団体等に設置されている、ろうあ者相談員・専任手話通訳者
- ・2017年度報告：（日程）10月19・20日（会場）札幌市、（参加者）59人、

【福祉・労働対策部】

1. 北海道労働局懇談

日時：2017年8月24日（金） 13：30～14：00

場所：北海道労働局職業安定部会議室3階

出席者：労働局／本間信弘職業対策課長、池田憲浩地方障害者雇用担当官

連 盟／金原常務理事・事務局長、大内福祉・労働対策部長

内 容：聴覚障害者の労働及び雇用施策への要望は、5項目の要望を提出しました。

2. 第19回ろうあ者労働問題フォーラム 【※詳細は、北聴紙第215号を参照ください。】

「大阪ろうあ会館の労働事業から（ろうあ者相談員・手話協力員・手話通訳者の役割）」というテーマで、(公社)大阪聴力障害者協会副会長 清田 廣氏からお話を頂き、全国的に見て、労働部門で様々な制度を利用して支援事業を展開している地域は現在大阪府位とのこと。

『労働は生活の基盤』であるということを考えると、労働に対する取り組みは非常に重要なことである、と清田氏が言っていました。

3. 道政懇談会(福祉)

日 時：2017年11月20日(月) 10:00～11:30

場 所：道立道民活動センター(かでの2.7)

出席者：福祉課/加藤直樹主幹、長谷川理恵主任

連 盟/山根理事長、佐藤副理事長、渋谷副理事長、金原常務理事、高嶋会計部長、大内福祉・労働対策部長、野原福祉・労働対策部付

内 容：3項目の要望を提出しましたが、主に昨年に続き、道の厳しい財政事情を反映してよい回答が得られませんでした。懸念されていた聴覚障害者情報提供施設の設置実現などは依然として課題が残っています。

公2-2 聴覚障害者福祉に関する普及・啓発

【趣旨】聴覚障害者福祉に関する普及・啓発を図り、聴覚障害者の福祉を増進した。

(1) 全道ろうあ者大会の開催

聴覚障害者の社会的自立とノーマライゼーション理念の確立を目指し、聴覚障害者福祉関係者と一般市民が一堂に会する行事として、会員団体が輪番で開催する「全道ろうあ者大会」について、開催経費の助成その他の支援を行う。

・2017年度報告：(日程)2017年9月1日～3日(会場)札幌市(参加者)843人

【第58回全道ろうあ者大会 in 札幌】

会 場 道立道民活動センター(かでの2.7)

日程・内容

2017年9月1日(金) 北海道ろうあ連盟理事会

9月2日(土) 大会式典・記念講演

参加者 843人

記念講演 「自分を探す旅の途中で ～私の人生～」

講師 筑波技術大学教授 大杉 豊(おおすぎ ゆたか)氏

9月3日(日)

■聴覚障害セミナー

『手話セミナー』

「全国手話研修センターの役割」

参加者 70人

講師 全国手話研修センター理事長 黒崎 信幸(くろさき のぶゆき)氏

『福祉セミナー』

「権利条約から手話言語法と情報コミュニケーション法の違い」 参加者 212人

講師 筑波技術大学教授 大杉 豊（おおすぎ ゆたか）氏

■青年のつどい

テーマ 「ろうあ運動の団結力と日本国憲法

～一人はみんなのために、みんなは一人のために」 参加者 42人

講師 一般財団法人全日本ろうあ連盟監事 内川 大輔（うちかわ だいすけ）氏

■女性のつどい

テーマ 「大切な人を送りたい、その“キモチ”と“カタチ”にする

～映画おくりびとのモデルとなった納棺師が語る～」 参加者 95人

■高齢のつどい

講義「サービス付き高齢者向け住宅の取り組みから」 参加者 103人

講師：公益社団法人札幌聴覚障害者協会事務局長 高嶋 正博（たかしま まさひろ）氏

見学会 ほほえみの郷・白い恋人パーク 参加者 93人

(2) ろうあ者労働問題フォーラム

聴覚障害者の労働問題改善について社会に提言するため、フォーラムを開催した。

【第20回 ろうあ者労働問題フォーラム】

日時：2017年10月8日（日）10：00～15：00 受付9：30～

会場：道立道民活動センター（かでの2.7）7階710号会議室

講演：「大阪ろうあ会館の労働事業から

（ろうあ者相談員・手話協力員・手話通訳者の役割）

公益社団法人大阪聴力障害者協会 副会長 清田 廣氏

グループ及び討論 1. ろうあ団体と手話協力員の関係づくり

2. 手話協力員制度の問題、労働に関する学習会や会議

3. 私たちがすべきことは何か？

・対象：聴覚障害者・職業安定所手話協力員・ろうあ者相談員・障害者就労支援事業者等

・2017年度報告：（日程）10月8日（会場）札幌市（参加者）41人

(3) スポーツリーダー育成研修会

聴覚障害者スポーツの普及・発展に貢献するリーダーを育成するため、聴覚障害者スポーツに携わる者を対象として、研修会を開催した。

【2017年度 北海道ろうあ連盟スポーツリーダー育成研修会】

日時：2018年1月14日（日）10：00～15：00

会場：道立道民活動センター（かでの2.7）

講演：「トルコサムスンデフリンピック報告

&全日本ろうあ連盟スポーツ委員会について」

講師：栗野 達人（あわの たつひと）氏

一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会国際事業部長

10：00～12：00 栗野スポーツ委員会国際事業部長による講演

13：00～15：00 第2回北海道ろうあ連盟スポーツ委員会

・2017年度報告：（日程）2018年1月14日（会場）札幌市（参加者）26人

【スポーツ部】

1. 第1回スポーツ委員会

日 時：2017年7月1日（土） 19：00～21：00

会 場：北広島市総合体育館

競技団体：フットサル、ボウリング、バドミントン、パークゴルフ、ソフトバレー、
男子バレーボール、フロアカーリング、スキー・スノーボード

ろう協会：札幌、小樽、十勝、釧路

内 容：1, スポーツ委員会活動報告について 2, 第51回全国ろうあ者体育大会（静岡県）
への参加確認について 3, 各競技団体より経過報告と今後の予定について

2. 第2回スポーツ委員会

日 時：2018年1月14日（日） 13:00～

会 場：道立道民活動センター（かでの2.7） 730号室

競技団体：バドミントン、サッカー、フロアカーリング、ボウリング、パークゴルフ
男子バレーボール、ソフトバレー、スキー・スノーボード

ろう協会：札幌、小樽、江別、十勝、帯広、釧路

欠席団体：ゲートボール

3. スポーツ委員会体制について

委員長 中 和彦（札幌） 事務局長 熊倉 晃（小樽）

【収益等事業】

■収 1 出版等事業

①出版事業（書籍の制作・販売、(一財)全日本ろうあ連盟が扱う書籍の販売）

2017年度書籍売り上げ（数）ベスト20

2018年度3月31日現在

順位	品 名	数量	売上額（円・税抜）
1	手話を学ぼう 手話で話そう テキスト	1,017	2,840,400
2	新 たっちゃんと学ぼう	815	158,461
3	新しい手話 2018	453	381,389
4	聴さんと学ぼう！	321	272,467
5	季刊MIMI 156号（夏号）	247	176,110
6	季刊MIMI 157号（秋号）	246	175,396
7	季刊MIMI 158号（冬号）	246	175,395
8	わたしたちの手話学習辞典Ⅰ（緑）	245	593,161
9	手話を学ぶ人のために	181	270,062
10	手話通訳Ⅲ テキスト	166	443,832
11	季刊MIMI 159号（春号）	154	109,800
12	おぼえようみんなの手話	133	266,000
13	手話通訳Ⅰ テキスト	130	345,548
14	差別事例分析結果報告書	128	61,350
15	新しい手話 2017	111	95,771
16	聴覚障害者への合理的配慮とは？	106	77,637
17	手話通訳Ⅱ テキスト	103	275,540
18	手話でGo！ピンバッジ	103	46,067
19	手話通訳者養成のための講義テキスト	94	152,646
20	北海道の手話	82	88,905

②手話カレンダー等事業（手話カレンダー等の物品の販売）

2017年度手話カレンダー売上

2018年3月31日現在

品 名	仕 入	贈 呈	販売数	残 数	売上額
手話カレンダー（大）	2,400	105	1,961	334	815,900
手話カレンダー（小）	2,400	60	2,144	196	767,750
合 計	4,800	166	4,105	530	1,583,650

③自動販売機手数料事業（道の施設への自動販売機3台の設置の仲介）

2017年度報告：道立総合体育センター（きたえーる）売上手数料 93,422円

渡島振興局 売上手数料 ① 22,244円 ② 103,319円

■他 1 相互扶助等事業

他 1-1 連盟活動推進事業

【機関紙部】

(1) 機関紙「北聴」発行

1. 2017 年度の報告

1) HSK北聴の特徴

HSK北聴を4回発行しました。2017 度の特徴は「報告・案内」スタイルがメインになりつつも一人ひとりの顔が見えるよう、手話言語条例採択された集合写真、会員や手話サークル員たちの笑顔や、デフリンピックに出場された長原バドミントン選手達を挙げました。

道内において新聞を発行しているのは道、札幌、旭川、釧路、函館、北広島の6団体ですが、それぞれの協会で新聞または情報誌を発行しているところがあれば、連盟に提供いただければと思います。

2) 2017 年度反省点及び課題

<反省点>

- 1) 手話言語条例のパブリックコメント、採択等の関係で北聴の発行日が遅れてしまいました。
- 2) 地域協会の役員体制を全部掲載しきれませんでした。
- 3) 北ろう連事務局の職員たちとの連携不足であやうく寄稿が掲載漏れになりそうだったことです。
- 4) 地域協会から「手話言語条例が制定された後の状況が見えない。」「協会の代表者の声を載せた方が面白いのではないか？」と、ご意見を頂いており、2018 年度の北聴に反映させていきたいです。

<第 212 号 7 月 10 日発行>

- ①第 5 回社員総会
- ②新旧理事長の挨拶、新役員体制
- ③2016 年度決算報告
- ④理事会報告、世界ろう連盟理事による手話言語フォーラム
- ⑤第 5 回（通算第 68 回）全日ろう連評議員会
第 65 回全国ろうあ者大会 in 福岡
- ⑥地域協会の役員体制
- ⑦専門部の報告
- ⑧第 58 回全道ろうあ者大会 in 札幌呼び掛け

<第 213 号 12 月 10 日発行>

- ①手話言語条例パブリックコメント呼び掛け
- ②北海道障がい者の意思疎通の総合的な支援に関する条例（仮称）の概要

- ③北海道言語としての手話の認識の普及等に関する条例（仮称）の概要
- ④第 58 回全道ろうあ者大会（札幌）の報告
- ⑤第 50 回全道ろうあ者体育大会（北広島）の報告
- ⑥理事会報告、全国手話言語市区長会、手話劇祭
- ⑦北海道聾史講座、全道ろうあ女性部研修会&交流会
- ⑧電話リレーサービス普及啓発のための学習会

<第 214 号 1 月 10 日発行>

- ①新年のご挨拶
- ②山根理事長、厚生労働大臣表彰受賞、第 18 回ろう教育フォーラム in 北海道
- ③手話を広める知事の会総会、長原選手に道民栄誉賞、行政職員手話講習会
- ④～⑧広告
- ⑨第 47 回全国ろうあ女性集会、外川バド選手から長原バド選手へ、曾根さんへの追悼
- ⑩耳の日記念事業案内、アイ・ドラゴン 4 の知らせ

<第 215 号 4 月 10 日発行>

- ①～②手話言語条例
- ③理事会報告・国際の手話言語デー
- ④3. 11 声明、電話リレー大学習会
- ⑤全国労働フォーラム、全道ろうあ者大会お知らせ
- ⑥電話リレーサービス、北海道労働フォーラム
- ⑦スポーツリーダー研修会、夏季体育大会案内
- ⑧事業カレンダー・全国ろうあ者大会案内

(2) 生活訓練事業

聴覚障害者の社会生活に関する各種教室等を開催する加盟団体を支援した。

ブロック名	道南ブロック	道央ブロック	道北ブロック	道東ブロック
期 日	10 月 1 日（日）	7 月 30 日（日）	11 月 26 日（日）	11 月 5 日（日）
会 場	函館市総合福祉センター	札幌市視聴覚障がい者 情報センター	まなみーる 岩見沢市民会館	中標津町 道立ゆめの森公園
参加者	61 名	41 名	45 名	16 名
内 容	①ろうあ者と手話の出会い ②第 65 回全国ろうあ者大会の報告（福岡大会）	①全日ろう連評議員会 報告と運動の取り組み ・全国ろうあ者大会の研究分 科会報告 ・各協会の報告と意見交換 ②レクリエーション	①全国ろうあ者大会報告 ②ヒグマについて知ろう	①紙ヒコーキではない紙 ヒコーキで遊ぼう！
講 師	①吉野州正氏 北海道手話通訳問題研究 会事務局長 ②全日本ろうあ連盟 評議員 石井昌子氏	①全日本ろうあ連盟評議員 渋谷雄幸氏 宮内博子氏 福島太郎氏 佐藤英治氏 中和彦氏 佐々木柄理子氏 ②宮本留美子氏 健康運動指導士	①橋本由美氏 全日本ろうあ連盟 評議員 ②坂元秀之氏 のぼりべつクマ牧場飼 育係長・学芸員	① 飯島実氏 NPO 法人伝成館代表理事

(3) 合同研修会（リーダー育成研修会）

事業内容

日 時：2017年11月11日（土） 18：00～21：00

11月12日（日） 9：00～15：00

会 場：道立道民活動センター（かでの2.7） （参加人数） 31名

内 容：

2017年11月11日（土）

第一講目 情勢と課題

『「全日ろう連」&「北ろう連」（運動の動き）&私たちの課題』

- ・全日ろう連、北ろう連のこれまでの運動から何を学び、どんな取り組みが北ろう連に必要なのかを考える。

講師：金原浩之事務局長

- ・北海道手話条例ができたなら、どう活用するか、どんな取り組みが考えられるだろうか？

講師：渋谷雄幸副理事長

第二講目 全員参加型

- ・手話条例制定後の「変わったと思うこと」、「考える必要があること、困っている事」を具体的に語る
- ・条例ができたなら何をしたいと考えるか？あなたの理想とする社会はどんな何か？
- ・制定自治体（石狩市、新得町、鹿追町、名寄市、登別市、室蘭市、帯広市、旭川市、洞爺湖町、伊達市、釧路市、苫小牧市、赤平市）
- ・制定検討中、動きあり（北海道、千歳市、小樽市、札幌市）

2017年11月12日（日）

第三講目 全員参加型 運動の質的发展のために

- ・創(つく)るため、担(にな)うために必要なことはどんなこと？

① ニーズ

② 資金はいくらか？どうやって集めたのか？

③ 人材は何人か。そして必要資格は？

第四講目 全員参加型 「高齢化に向けて情報交換・意見交換」

テーマ「高齢者が豊かで幸せな生活を送るには」

- ・どんなことで困っているのか、不便なことは？

【組織部】

1. 北ろう連の課題

2017年11月11日～12日に開かれた合同研修会において、参加する協会が8協会と24協会の3割しか参加していないことに対して大変憂慮しています。なぜ、参加していないかを考慮してアンケート調査を行い、参加協会を増やし、お互いに学習、交流することによって運動の向上を目指したい。

2. 北ろう連の現状

手話言語条例が制定された自治体が増え、大変喜ばしい状況ではあるが、その一方で、高齢化等の理由により会員数が減っていく協会もあり、なかなか難しいものがあります。そして、公的事業や独自事業によって人材雇用を生み出している協会は、北海道では3協会しかなく、このままでは人材雇用のない協会は無くなってしまいう可能性があります。

3. ろうあ運動の底上げ

北海道における手話言語条例制定の自治体は19に増え、地域に手話を言語として認めているが、一部会員数が増えた協会があり、全体的に減っている傾向がある。減らないためにはどうしたらよいかをじっくり、煮詰めて地域協会と連携をとり、進めていく。

会員の所属自治体（70自治体）2017.12.31届出による。

札幌市	函館市	小樽市	旭川市	室蘭市	釧路市
帯広市	北見市	夕張市	岩見沢市	網走市	苫小牧市
稚内市	美唄市	江別市	赤平市	名寄市	根室市
千歳市	富良野市	登別市	恵庭市	伊達市	北広島市
石狩市	北斗市	滝川市	三笠市	士別市	鹿部町
知内町	厚真町	寿都町	古平町	余市町	森町
白老町	新ひだか町	黒松内町	鷹栖町	東神楽町	愛別町
東川町	上富良野町	月形町	斜里町	音更町	新得町
幕別町	池田町	釧路町	鹿追町	白糠町	芽室町
当麻町	えりも町	東川町	留辺蘂町	常呂町	中標津町
羅臼町	清里町	下川町	当別町	美幌町	訓子府町
津別町	羽幌町	赤井川村	中札内村		

【注意】

次の代議員選挙は、2019年2月～4月の間に行なう予定。選出基準となる会員数は、2018年12月31日付の会員となります。

組織の現状と特徴

	ブロック名	道南ブロック	道央ブロック	道北ブロック	道東ブロック
ブロック 委員会 委員氏名	構成 役職	後志・胆振・渡島管内	石狩管内	上川・空知・宗谷管内	釧路・根室・十勝・オホーツク管内
	委員長	熊倉晃（小樽）	東出昇（北広島）	稲荷山佳光（美唄）	蠣崎日出雄（釧路）
	副委員長				佐々木古寿恵（根北）
	事務局長	石井茂憲（函館）	福岡静枝（札幌）	野田一男（旭川） 副：橋本由美（旭川）	杉田美和（釧路）
	会計部長	酒井幹雄（苫小牧）	野口和伸（札幌）	工藤努（旭川）	糸谷弘（釧路）
	組織部長			岡崎尚則（上川北部）	

	監事	明井淳一（後志） 山田隆（登別）	猫宮邦裕（千歳）	大田晃栄（旭川）	長縄貞子（根室）
ブロック内サークル、北通研との共同や連携に関する事など		例) サークル育成、ろう相設置、通訳者、奉仕員講座開設、講師養成、登録、派遣制度に関する意見交換などありましたら書いてください。			
		なし	なし	なし	なし
ブロック委員会の開催	社員 総会前	例) ブロック内（地域）の福祉課題の検討や取組み、議案、提案、懸案事項への意見集約に関してどんなことがあったか書いてください			
		なし	なし	なし	なし
	社員 総会后	例) 全国、全道的な運動課題の検討や取組み、大会決議、運動方針の具体化などはどんなことがあったか書いてください。			
		なし	なし	なし	なし
ブロック研修交流会の開催	期 日	生活訓練事業	生活訓練事業	生活訓練事業	5月27日（土） ～28日（日）
	会 場				中標津町
	参加者				113名（延べ）
	内 容				27日（土）ブロック会議 道東地区6協会より16名 パークゴルフ競技 27名 28日（日）スポーツ交流会 ソフトバレーボール競技 2チーム 11名 フロアカーリング競技 22チーム 44名 応援者 15名
振興局内代議員選出の調整			旭川範囲は臨時総会で代議員選挙を行う。（昨年度実施済み） 旭川市外在住者はその範囲で代議員選挙を行う（昨年度実施済み） 美唄は中空知と協議。 岩見沢、上川北部はそれぞれの協会にて代議員を決定。 稚内は人数が少ないため実施せず。	各地域割り当てに対応して選出する予定。	

(5) 連盟各部・委員会等の活動に対する支援

【教育・文化対策部】

1. 教育局との懇談会（非公開）

日 時：2017年11月20日（月） 13：30～15：30

場 所：道立道民活動センター（かでの2.7）

出席者：教育局／宇野宏之祐指導主事

連盟／山根理事長、佐藤副理事長、金原常務理事、高嶋会計部長、
宮内教育・文化対策部長

2. 全国ろうあ者大会写真コンテスト入賞者作品展示（全道ろうあ者大会）

道内の入賞者が全員、北ろう連会員で有り、全員から作品を送付頂き、展示致しました。

【青年部】

【事業実施報告】

1. 第30回全道ろうあ青年研究討論会（ミニ青研）

日 時：2017年5月13日（土）～14日（日）

場 所：苫小牧市民活動センター 会議室2

参加数：28名

内 容：「段また段を成して」上映会、野添亘氏による講演

成 果：一日目は、「段また段を成して」を上映し、ろうあ運動の歴史を振り返り、昔のろうあ運動の大変さを改めて実感できました。二日目は、一般社団法人全日本ろうあ連盟青年部中央委員の野添亘氏をお招きし、「国際手話 ～国際交流への第一歩～」について講演していただきました。国際手話を学ぶきっかけやアメリカに留学していた時の様子など聞くことができました。講演後は、簡単な国際手話を覚えたり、国際手話で会話したりして実際に体験しました。

2. 第58回全道ろうあ者大会in札幌 青年のつどい

日 時：2017年9月2日（土）

場 所：札幌市

参加数：44名

内 容：一般財団法人全日本ろうあ連盟監事の内川大輔氏をお招き、「ろうあ運動の団結力と日本国憲法～一人はみんなのために、みんなは一人のために」について講演していただきました。日本国憲法を学びながら、今までのろうあ運動を振り返り、仲間たちの存在・組織力など改めて大切だと実感できた内容でした。参加者からも好評でした。

3. 第49回北海道ブロック代議員会in北広島

日 時：2018年1月8日（月）

場 所：札幌市

参加数：19名

内 容：元々2017年12月10日に北広島市で青年部代議員会を開催する予定でしたが、参加人数が少なく過半数にならなかった為、青年部規約により止むを得ず2018年1月8日に延期する運びになりました。

当日は参加人数も過半数を超え、無事に代議員会を開くことができ、一年間の事業報告や2018年度の事業計画などを語り、意見交換をしました。

2017年度－2018年度役員体制

青年部長：東出 昇（北広島）

総務部長：眞鍋 秀之（札幌） 総務部副：京野 大樹（札幌）

財政部長：泉 隆行（札幌）

組織部長：京野 大樹（札幌）

事業部長：大田 晃栄（旭川） 事業部副：美馬 伸隆（札幌）

広報部長：東出 理恵（北広島） 広報部副：佐藤 亮輔（旭川）

監査：小林 巧（小樽） 監査：佐藤 尚行（札幌）

【女性部】

1. はじめに

2017年度は新しい役員を迎えて5人で活動をスタートしました。

2016年度の反省を十分に活かし今年度は、無理なく活動しやすいスタイルを築くことが出来るようお互い協力し合いました。

全道ろうあ女性研修会&交流会と全道ろうあ者大会女性のつどいでは男性の参加者が少しずつ増えているように実感しています。

今後も男性会員に女性部活動への理解と協力を頂きながら、魅力ある女性部を目指していきたいと思えます。

2. 第58回全道ろうあ者大会「女性のつどい」について

2017年度は、過去最高の95名が参加し私たちもうれしい悲鳴でした。

人の死と真摯に向き合い続け、映画「おくりびと」で広く知られるようになった死への旅立ちを手伝う納棺師の木村氏を迎え、自らの仕事や作法など経験をもとに講演されました。今を生きている私たちには、誰にでも必ず訪れる別れ「死」と向き合い対話をするすることで大切な人の死に向き合うためのきっかけ作りをして頂いたと気付きました。

大切な別れがすてきな時間になるとは想像もしていなかったので「死」を経験することで他者に優しく、一日一日を大切に過ごしていきたいと思えました。

盲ろう者の方にも参加して頂きましたが、実技を見る配慮が行き届かないところもあり、ご不便をおかけしてしまいました。この反省を生かしてすべての参加者に情報の平等を提供出来るよう工夫したいと思えます。

3. 第34回全道ろうあ女性交流会及び第27回研修会について

手話言語条例が制定され3年目を迎えた石狩市の石狩市総合福祉センターにて、全日本ろうあ連盟女性部長の唯藤節子氏を講師に迎え、女性部設立から現在の女性活動内容など、ご自身の経験を含めて講演頂きました。

ろうあ女性として仕事と家庭を両立させることは簡単なことではありません。

子育てや生活などの問題を解決するためには、男性会員の協力が不可欠であり男女関係なく全体で考えていかなければならないと思えました。

ろうあ女性が活躍するためには、今後の活動に向け、しっかりと生かしていきたいと思えました。

講演会後は連盟女性部がスタートしたころの写真を元に45年の歩みを参加者の皆さんと一緒に鑑賞し懐かしい姿や若かりしの姿に、大変盛り上がりました。

交流会や社会見学では石狩聴力障害者協会の協力のもと身振りの伝言ゲームや北海道高等聾学校の学校祭を見学し、ケガや事故もなく無事に終えることが出来ました。

4. 今後について

毎年の課題にしている青年部と高齢部との交流については、全道ろうあ者大会のつどいで青年部と合同で企画したことをきっかけに交流することが出来ました。今後も交流することがあると思えますがお互いに力を合わせて活動することが出来るように対話をしていきたい

と思います。

高齢部との交流は、なかなか実現に至ることはできませんでした。一度、役員レベルでの話し合いを設けて工夫していきたいと思います。

2018年度は、会員の皆さんに理解、協力を頂きながら、各協会との連携を深め、組織の力を底上げできるように努め、今後につなげていくことが出来るように取り組んでいきたいと思っています。

【事業実施報告】

1. 第34回全道ろうあ女性交流会及び第27回全道ろうあ女性研修会

日 時：2017年7月22日（土）～23日（日）

開催地：石狩市

テーマ：「あなたにとっての女性活動とは？」

講 師：唯藤 節子氏

参加数：57名

2. 第58回全道ろうあ者大会「女性のつどい」

日 時：2017年9月3日（日）

開催地：札幌市

テーマ：「大切な人を送りたい、その“キモチ”を“カタチ”にする」

講 師：木村 光希氏

参加数：95名

3. 第5回（公）北海道ろうあ連盟女性部定期総会

日 時：2018年3月11日（日）

開催地：札幌市（道民活動センター）

2017年度～2018年度役員体制

女性部長：佐々木柄理子（千歳） 事務局長：畠山 和子（札幌）

組織部長：長助澤 馨（千歳） 会計部長：杉本 洋子（石狩）

監 事：渡辺 菜穂子（札幌）

【高齢部】

北海道ろうあ連盟高齢部の現状と今後の在り方について

2017年北海道ろうあ連盟高齢部の活動状況は、全道ろうあ者大会高齢者のつどいが今年度の活動でした。

高齢部長も部長交代から10年目を迎えます。その間、高齢部の事業は高齢者大会の高齢者のつどいの運営、高齢者交流会、全道の高齢者実態調査の実施等を行ってきました。

その中で高齢者交流会はろうあ者大会のつどいの中に組み入れて、講演、社会見学等を実施してきています。

高齢者実態調査については報告書の発行をもって完了しました。

ただ、発行後販売に努力してきましたが現在、100部くらいの残部があります、発行後経年
化していますので処分することも考量しています。

高齢部総会については、例年2・3月に開催していましたが参加者の減少や時期的な面、参
加費の面から、9月の高齢者大会に合わせて開催してきました、昨年の総会に於いて、総会
の時期が連盟の決算時期に合わない、新しく選出した役員の待期期間が長いとの意見も出さ
れ、また連盟理事会においても見直しを図るようにとの指導があり、2月に総会を開催する
ことに決定しました。

- * 9月総会・・・・・・・・⇒ 2・3月に開催
- * 新たな高齢部事業の開拓

【事業実施報告】

1. 第58回全道ろうあ者大会高齢者のつどい・高齢部総会の開催

日 時：2017年9月2日（土） 高齢部定期総会 3日（日） 高齢者のつどい
開催地：札幌市

参加数：総会 代議員定数39名のうち出席者21名、委任8名
高齢者のつどい103名

内 容：「札幌に聞こえない人向けのサービス付き高齢者向け住宅（サ公住）が完成」を
テーマに札幌聴力障害者協会事務局長高嶋事務局長を迎え、サ公住の計画から完
成までの経過を話していただきました。

午後からのほほえみの郷見学会には83名の人の参加者がバス2台に分乗してサ
公住「ほほえみの郷」の見学を行いました。

2. 第10回高齢部代議員総会の開催

日 時：2018年2月6日（火）
開催地：札幌市

内 容：役員体制又全日本ろうあ連盟高齢部の代議員の選出が行われました。

高齢部役員については2018年3月で任期満了になりますが、北海道ろうあ連盟
の任期と合わせるために1年間延長して2019年度に役員改選を行うことにしま
した。

また、全日本ろうあ連盟高齢部代議員には帯広協会の村中哲太郎が立候補し選出
されました。任期は2018年より2年間です。

3. 高齢部役員体制

北海道ろうあ連盟高齢部の役員は2015年9月高齢部総会によって選任されました。
任期は2016年4月より2018年3月までが役員の任期期間となります。

2016年度～2018年度役員体制

部 長	川口 豊（十勝）	副 部 長	佐藤 英治（札幌）
総務部長	小林 信之（旭川）	会計部長	中川 美鈴（釧路）

組織部長 磯野 治夫 (小樽) 事業部長 扇谷 吉久 (函館)
調査・研究部長 谷水 岩雄 (札幌) 監 事 佐々木昌美 (札幌)

他 1-2 文化スポーツ推進事業

(1) 文化スポーツ表彰・助成事業 (文化スポーツ基金事業)

聴覚障害者の文化・スポーツ活動を振興するため、表彰・助成を行う。

文化・スポーツ委員会の開催 2017年11月18日(土)

2018年2月17日(土)

2017年度 文化スポーツ賞及び助成事業 該当者なし

(2) 全道ろうあ者夏季体育大会に対する助成

【第50回全道ろうあ者夏季体育大会in北広島】

日 時：2017年6月30日(金)～7月2日(日)

会 場：北広島市総合体育館 他

競 技：6競技開催

[ボウリング・バドミントン・パークゴルフ・ソフトバレーボール
フットサル・フロアカーリング]

参加者：選手287名、競技役員8名、来賓22名、実行委員21名、

要員28名、通訳12名、応援約70名 計448名

総 括：選手・役員・実行委員等約450名の参加規模で開催しました。

大会期間中、大きな事故・トラブルもなく無事に終わることが出来て大変良かったと思います。北広島聴力障害者協会を初め、北広島手話の会・北広島要約筆記サークル及び関係者の方々からご理解とご協力をしてもらった事に対しまして心より感謝申し上げます。

(3) 荒木身体障害者スポーツ基金助成事業

荒木身体障害者スポーツ基金から助成を受けて、聴覚障害者のスポーツ行事を開催する。

【第15回全道ろうあ者パークゴルフ交流大会&研修会】

日 時：2017年9月23日(土)～24日(日)

会 場：南幌温泉ハート&ハート

参加者：37名

■全国会議・研修会への派遣・協力

<研修会等>

■世界ろう連理事による手話言語法フォーラム in 北海道（協力）

日 時：2017年6月6日（火）
場 所：道立道民活動センター（かでの2.7）
主 催：一般財団法人全日本ろうあ連盟
参加数：202名
内 容：世界ろう連盟理事による講演
テーマ：世界の手話言語に関する法制度の状況
講 師：カイサ・アランネ氏（フィンランド）
 フローリアン・ロイバ氏（アルバニア）

■行政職員手話講習会（協力）

日 時：11月29日（火）～30日（水）
場 所：石狩市総合保健福祉センターりんくる
主 催：一般財団法人全日本ろうあ連盟・社会福祉法人全国手話研修センター
参加数：22名
内 容：道内の行政職員が手話言語を学び、コミュニケーション能力の向上を図るとともにろう者への理解を深める

■電話リレーサービス普及啓発のための学習会（協力）

日 時：2018年1月14日（日）
場 所：道立道民活動センター（かでの2.7）
主 催：一般財団法人全日本ろうあ連盟
参加数：108名
内 容：電話リレーサービスの制度や仕組みを学ぶ
1. 海外と日本の電話リレーサービスの状況について
2. 日本財団の取り組みとデモ体験

<派遣>

■福祉・労働対策部

1. 第22回全国職業安定所手話協力員研修会等兼ろうあ者労働問題フォーラム

日 時：2018年1月26日（金）～27日（土）

場 所：東京都国立オリンピック記念青少年総合センター【詳細※北聴紙第215号参照】

■情報・コミュニケーション部

1. 第50回全国手話通訳問題研究集会～サマーフォーラム in ひろしま～（派遣）

日 時：2017年8月18日（金）～20日（日）

場 所：8月18日 ふくやま芸術文化ホール・19日～20日 福山市立大学

内 容：8月18日：開会式

特別講演：「行政説明」（厚生労働省）

記念講演「風の歌が聴きたい」 講師 大林 宜彦氏（映画監督）

8月19日～20日：C講座「人権」：渋谷情報・コミュニケーション部長参加

参加者：1117名

2. 2017年度全国情報・コミュニケーション会議

日 時：2017年8月19日（土） 17：30～19：30

場 所：福山市立大学

内 容：「手話言語法を目指す取り組みについて」

講 師：全日本ろうあ連盟事務局長 久松三二

「アンケートの結果および電話リレーサービス・

遠隔手話サービスと手話通訳制度の拡充に関して意見交換」

報 告：情報・コミュニケーション委員会委員長 小椋武夫

出席者：渋谷情報・コミュニケーション部長参加

■青年部

1. 第65回全国ろうあ者大会in福岡 青年のつどい

日 時：2017年6月3日（土）

場 所：福岡県

参加数：214名（北海道ブロック→11名）

内 容：テーマ「70年の想い、未来へ繋げる」として、「世界（世界ろう連盟 青年部長 セシリア・ハンヒコスキー氏）×アジア（世界ろう連盟 アジア地域青年部長 青山裕香子氏）×日本（一般社団法人 全日本ろうあ連盟青年部長 廣田喜春氏）」による講演でそれぞれの青年部活動の様子を知ることができました。

2. 第36回全国ろうあ青年部活動者会議inつくば

日 時：2017年8月13日（日）～14日（月）

場 所：茨城県 筑波技術大学

参加数：107名（北海道ブロック→6名）

内 容：一日目はミニテスト・筑波技術大学の杉豊先生と小林祥子先生による「ろう者学」の講義

二日目はスポーツレクリエーション（ソフトバレー）・役職ごとに分かれて、「組織を活性化するためには」「N-Actionと関係づくりを築くためには」をテーマにグループ討論をしました。

3. 第51回全国ろうあ青年研究討論会in大阪

日 時：2017年11月3日（金）～5日（日）

場 所：大阪府堺市 国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）

参加数：423名（北海道ブロック→27名）

内 容：テーマは「差別のない未来へ～手話でつむぐ青年のものがたり～」。未来を確かなものにするために、手話言語で生きることができる社会をどう築いていくかを、入門講座と手話・労働・組織・情報アクセシビリティ・国際とスポーツの5つの分科会で討論しました。

4. 第5回東日本幹部研修会in愛知

日 時：2017年12月2日（土）～3日（日）

場 所：愛知県名古屋市

参加数：52名（北海道ブロック→3名）

内 容：一日目はチームに分かれ、名古屋市内を地下鉄でめぐり、与えられたお題を様々なツールを駆使し、仲間と協力し合ってミッションをクリアしていくという企画をやりました。二日目はブロックアピール（ブロックで開催した全青研の歴史）を発表した後は、元全日本ろうあ連盟青年部副中央委員長の鶴田康彦氏をお招きし、「20年の時を経て、青年たちに伝えたいこと」をテーマとして講演してもらいました。

5. 第49回全国委員会in東京

日 時：2018年2月10日（土）～11日（日）

場 所：BumB東京スポーツ文化館（東京都江東区）

参加数：43名（北海道ブロック→6名）

内 容：全国から43名の中央委員・全国委員が集まり、総括報告から各専門部、会計中間報告といった2017年度活動報告、2018年度の活動方針・事業計画・一般会計予算案など報告され、中央委員と全国委員とで意見交換を行いました。

また今回は、第19期中央委員の役員改選を行いました。中央委員立候補者7名から選挙で6名が当選されました。また監事も3名立候補があり、信任投票で全員当選しました。そして、各ブロック推薦中央委員9名を含めた、計18名の第19期中央委員会の体制も発表されました。北海道ブロックの推薦中央委員は東出に決まりました。

6. 第1回三専門部合同活動者研修会

日 時：2018年2月11日（日）～12日（月）

場 所：BumB東京スポーツ文化館（東京都江東区）

参加数：71名（青年部→6名、女性部→2名）

内 容：2018年2月11日（日）、12日（月・祝）に、第1回三専門部合同活動者研修会を東京都江東区の東京スポーツ文化館で開催しました。組織委員会の三専門部（高齢部・女性部・青年部）で合同開催する初めての試みで、各専門部から71名の参加

がありました。1日目は連盟 情報・コミュニケーション委員会の小椋武夫委員長の「障害者差別解消法の合理的配慮について」の講演があり、参加者と対話しながら合理的配慮について考えました。

その後、「若者たちの現状と課題」、「女性役員を増やすためには」、「高齢者たちの現状と課題」、「会員拡大のために」の4つのテーマに分かれてグループ討議を行い、世代を超えて各分野について議論を交わしました。

■女性部

1. 第47回全国ろうあ女性集会

日 時：2017年10月27日（金）～29日（日）

開催地：群馬県伊香保温泉

派遣者：佐々木柄理子

参加数：502名

内 容：「ナチスから迫害された障害者たち～忘れられた歴史はくり返す、今の私たちに問われること～」

講 師：藤井克徳氏

（日本障害フォーラム副代表 特定非営利活動法人日本障害者協会代表）

相模原障がい者殺傷事件について触れ、相模原事件とナチス時代に多くの障がい者たちが殺傷された事件には社会に根深く残る差別があると感じました。

障害者権利条約が制定された流れもお話しして頂き、最後に「学ぶこと」「つながること」「伝えること」「続けること」を私たちにメッセージを残して締めくくりました。

2. 全国委員会&第44回女性研修会

日 時：2018年1月27日（土）～28日（日）

開催地：兵庫県神戸市

派遣者：全国委員会 佐々木柄理子・畠山和子

女性研修会 佐々木柄理子・畠山和子・杉本 洋子・渡辺菜穂子・福岡静枝

参加数：102名

内 容：「夢とコミュニケーション～我が人生サーフィンとともに」

講 師：太田辰郎氏（「Surf House Ota」オーナー）

サーフボードの修理や製作、ハワイの雑貨やコーヒーなどお店を営んでいる太田氏を講師に迎え、店主としてお客様とのコミュニケーション方法やご自身の生き立ちについてお話して頂きました。

デフファミリーで生まれた太田氏は経営のノウハウが無く試行錯誤し、コーヒー試飲をきっかけに鉛筆とメモを使ってお客とコミュニケーションを増やしていきました。

鉛筆を使うことで健聴者の喜怒哀楽がすぐわかるとの事で、私たちにアイコンタクトと顎コンタクトなどでコミュニケーションの幅は広がると教えていただき、充実した時間の講演会でした。

【法人関係事業】

●事務局

1. 理事会（役職構成）

役職名	氏名	担 当	全日ろう 評議員
理事長	山根 昭治	派遣センター・文化・スポーツ基金・4団体懇	理事
副理事長	佐藤 英治	制度改革推進本部・4団体懇	○
副理事長	渋谷 雄幸	情報・コミ部長・派遣センター・4団体懇	○
常務理事	金原 浩之	事務局長・派遣センター・文化・スポーツ基金・4団体懇	○
理事	高嶋 正博	会計部長・派遣センター・4団体懇	監事
理事	佐藤 義典	組織部長	
理事	福島 太郎	機関紙部長	○
理事	大内 祥一	福祉・労働対策部長	○
理事	宮内 博子	教育・文化対策部長・文化・スポーツ基金	○議長
理事	中 和彦	スポーツ部長・文化・スポーツ基金	○
理事	東出 昇	青年部長	
理事	佐々木柄理子	女性部長	○
理事	川口 豊	高齢部長	○
理事	中川 雅敏	組織部付	
理事	橋本 由美	情報・コミ部付	○
理事	石井 昌子	教育・文化対策部付・文化・スポーツ基金	○
理事	野原 伸也	福祉・労働対策部付	
理事	森 恵子	福祉・労働対策部付	
監事	小山 輝義		
監事	河村 明子		

（職員の採用・退職）

採用	なし
退職	石川 峰男 2018年3月31日（石狩振興局） 田中美佐保 2018年3月31日（宗谷総合振興局）

2. 手話言語条例

2018年3月20日には北海道でも「北海道言語としての手話の認識の普及等に関する条例」「北海道障がい者の意思疎通支援の総合的な支援に関する条例」が採択され4月1日に施行されました。

また、札幌市（2018年3月6日）、千歳市（2018年3月8日）、小樽市（2018年3月20日）、三笠市（2018年3月26日）、岩見沢市（2018年3月27日）で採択され、これによって北海道で手話言

語条例を実施している自治体は19道市町（2018年3月31日現在）になります。

	地域名	条例の名称	制定日	施行日
1	北海道	北海道言語としての手話の認識の普及等に関する条例	2018年3月20日	2018年4月1日
2	石狩市	石狩市手話に関する基本条例	2013年12月16日	2014年4月1日
3	新得町	新得町手話に関する基本条例	2014年3月5日	2014年4月1日
4	鹿追町	鹿追町手話に関する基本条例	2014年9月19日	2014年10月1日
5	名寄市	名寄市みんなを結ぶ手話条例	2015年3月20日	2015年3月23日
6	登別市	登別市ぬくもりある手話条例	2015年12月18日	2016年4月1日
7	室蘭市	室蘭市みんなの心をつなぐ手話言語条例	2016年3月25日	2016年4月1日
8	帯広市	帯広市手話言語条例	2016年3月28日	2016年4月1日
9	旭川市	旭川市手話言語に関する基本条例	2016年6月17日	2016年7月1日
10	洞爺湖町	洞爺湖町手話言語条例	2016年12月13日	2017年4月1日
11	伊達市	伊達市やさしい心がかよいあう手話言語条例	2016年12月15日	2017年4月1日
12	釧路市	釧路市手話言語条例	2017年3月17日	2017年4月1日
13	苫小牧市	苫小牧市手話言語条例	2017年3月17日	2017年4月1日
14	赤平市	赤平市思いやりあふれる手話言語条例	2017年3月22日	2017年4月1日
15	札幌市	札幌市手話言語条例	2018年3月6日	2018年3月6日
16	千歳市	千歳市手話言語条例	2018年3月8日	2018年3月8日
17	小樽市	小樽市手話言語条例	2018年3月20日	2018年3月20日
18	三笠市	三笠市笑顔で心をつなぐ手話言語条例	2018年3月26日	2018年4月1日
19	岩見沢市	岩見沢市手話言語条例	2018年3月27日	2018年4月1日

3. 国に「手話言語法」制定を求める意見書の提出

「手話言語法（仮称）」の制定を求める意見書は残り2つとなっていたが、2015年6月26日に歌志内市議会で可決、9月9日に陸別町議会で可決され、これをもって北海道を含む道内全自治体180議会で意見書が採択されました。（国内は2016年3月3日に栃木県芳賀町で可決され全国の都道府県と市町村議会合わせて1,788議会で100%採択されました。）

4. 国に「情報・コミュニケーション法」の制定を求める意見書の提出

可決された議会は次の通りです。（2018年3月31日現在、22議会）

□ 2014年

札幌市	3月28日	余市町	3月31日	京極町	6月13日	喜茂別町	6月13日
岩内町	6月19日	黒松内町	6月19日	古平町	6月19日	真狩村	6月19日
倶知安町	6月19日	赤井川村	6月19日	寿都町	6月20日	ニセコ町	6月24日
積丹町	6月25日	仁木町	6月25日	石狩市	6月26日	神恵内村	9月19日
釧路市	9月24日	小樽市	12月25日				

□ 2016年

留寿都村	3月18日	泊村	3月15日	島牧村	3月16日	共和町	3月23日
------	-------	----	-------	-----	-------	-----	-------

5. 情報提供施設関係

障害者基本計画では2017（平成29年度）までに47都道府県に聴覚障害者情報提供施設を設置する目標を掲げています。

北海道手話言語条例制定に当たり、聴覚障害者情報提供施設にむけての話し合いが急ピッチで進められましたが、道は財政難を理由に、聴覚障害者情報提供施設の整備に具体的な内容まで合意できていません。2018年度も引き続き道と折衝を続けていきます。

6. 理事会の開催

第1回	2017年4月22日（土）	道立道民活動センター（かでの2・7）
第2回	2017年5月20日（土）	道立道民活動センター（かでの2・7）
第3回	2017年9月1日（金）	道立道民活動センター（かでの2・7）
第4回	2017年11月18日（土）・19日（日）	道立道民活動センター（かでの2・7）
第5回	2018年2月17日（土）・18日（日）	道立道民活動センター（かでの2・7）

		第1回	第2回	第3回	第4回		第5回	
		4月22日	5月20日	9月1日	11月18日	11月19日	2月17日	2月18日
前理事長	蠣崎 日出雄	○	○					
理事長	山根 昭治	欠 ※副	○ ※副	○	○	○	○	○
副理事長	佐藤 英治	○	○	○	○	○	○	○
副理事長	渋谷 雄幸	○ ※理	○ ※理	○	○	○	○	○
常務理事	金原 浩之	○	○	○	○	○	○	○
理事	高嶋 正博	○	○	○	○	○	欠	○
理事	佐藤 義典	○	○	○	欠	○	○	○
理事	福島 太郎	○	○	○	○	○	○	○
理事	大内 祥一	○	○	○	○	○	○	○
理事	宮内 博子	○	○	○	○	○	○	○
理事	中 和彦	○	○	○	○	○	○	○
理事	東出 昇	○	○	○	○	○	欠	○
理事	佐々木柄理子	○	○	○	○	○	○	○
理事	川口 豊	○	○	○	欠	欠	○	○
理事	中川 雅敏	○	○	○	○	○	○	○
理事	橋本 由美	○	○	○	○	○	○	○
理事	石井 昌子	○	○	○	○	○	○	○
理事	野原 伸也			○	○▲	○	○▲	○
理事	森 恵子	○ ※監	○ ※監	○	○	○	○	○
理事	片岡 寛	○	○					
監事	小山 輝義			○	欠	○	欠	○
監事	河村 明子			○	○	○	○	○
監事	菊地 文雄	○	○					

※第1回と第2回は旧肩書き ▲は遅刻

7. 三役会議の開催

第1回	2017年6月13日	火	9:30~11:30	道立道民活動センター(かでの2・7)
第2回	2017年9月1日	金	13:00~15:00	道立道民活動センター(かでの2・7)
第3回	2017年11月17日	金	16:00~17:00	道立道民活動センター(かでの2・7)
第4回	2018年1月9日	火	9:00~11:00	道立道民活動センター(かでの2・7)
第5回	2018年2月13日	火	14:30~17:00	道立道民活動センター(かでの2・7)

8. 4団体懇談会の開催

第1回	2017年5月20日	土	10:00~12:00	道立道民活動センター(かでの2・7)
第2回	2017年11月18日	土	13:00~15:00	道立道民活動センター(かでの2・7)
第3回	2018年2月17日	土	13:00~15:00	道立道民活動センター(かでの2・7)

